

校長室の窓辺より

都留市大野 3 9 6 電話 0554(43)2336 校長 深澤 秀興

附属小の宝！

4月5日、5・6年生が、翌日に控えた入学式準備のために登校し、新入生のために、いろいろな作業を行って

くれました。その中のひとコマ。

来賓がお使いになる職員玄関を、6年生が、砂を取り除いた後に水をまき、ブラシで床を磨いていました。私は外に用事があり、下履きに履き替え、一歩踏み出そうとしました。その瞬間、水に濡れた床に靴を置こうとした私の動きを目に留め、「アッ」という声と共に、6年生の男子が、私の足もとの水を取り除いてくれました。

本校は、学校教育目標に、「やさしく、かしこく、たくましく」を掲げています。校長先生が、ぬれた玄関を歩み出そうとするその状況を的確にとらえ、どうすべきかを瞬時に判断する。この「優しさ」に包まれた、「賢さ」。

次は、翌日の入学式後の片付けでのひとコマ。高跳び用マットを、6年担任の久保田先生と片付けていたとき、「あ～、あと一人、誰かその端を持ち上げてくれば」と心の中でつぶやいたその瞬間、援助を声に出して頼んだわけではないのに、その場面を同じく目に留めた5年生のある男子が、私が望んだ場所に手を差し伸べ、力を貸してくれました。さらに、その男子は、その後も力のいる仕事を、手伝ってくれました。

なんと優しい子どもたち。なんと賢い子どもたち。この子どもたちは、着任したばかりの私に、附属っ子の素晴らしさを、身をもって示してくれました。

今年の学校便りは、「校長室の窓辺より」とタイトルを一新すると共に、紙面もA4版からB4版へと拡大し、46名の子どもたちの生活の機微や、学校全体の動きをお伝えしていきたいと思います。また、学校には、地域と連携・協力しながら、子どもたちの健やかな成長を保証することが、より一層求められていることから、地域の皆様方への情報発信も、この「便り」を通して行っていきたいと思っています。

どうぞ宜しく、お願いいたします。



H30年度「附属小丸」出航

● 校長の深澤です ●

申し遅れました、私こと、鬢櫛前校長の後を引き継ぎ、この歴史ある都留文科大学附属小学校の校長を仰せつかりました、深澤秀興（ふかさわ ひでおき）と申します。

昭和町立常永小学校から異動して参りました。常永小学校は、県内最大のショッピングモールを校区に抱え、2クラス55名の6年生が卒業した後、4クラス110名の1年生が入学してくるといふ、県内でも珍しい、変化の激しい学校でした。

自宅は、中央自動車道甲府昭和インターから車で1分というところにあります。保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

校長室のドアはいつも開いておりますし、朝からの出張がない日には、鬢櫛前校長同様、学校前の横断歩道で旗振りをしています。上記の顔を見かけたときには、お気軽にお声かけいただきたいと思います。また、どんな些細なことでもお話をお伺いしますので、御連絡ください。



● 46名の子どもたち ●

4月6日（金）の入学式において、9名の1年生を迎え、児童数46名、教職員16名、合わせて62名で「H30年度附属小丸」は出航しました。

児童数の内訳は、2年生5名、3年生7名、4年生12名、5年生4名、6年生9名です。また、男女数は、男子が24名、女子が22名となっています。さらに、学区内の児童が38名、学区外から通学してくる児童が8名となっています。

保護者の皆様、地域の皆様、この子どもたちの健やかな成長のため、本校教育活動に対して、御理解と御協力をお願いいたします。

● 6名の教職員の異動がありました ●

保護者の皆様には、4月2日付のお便りでお知らせしましたが、平成29年度末人事異動で、私を含め6名の教職員が、附属小に移動してきました。どうぞ宜しく、お願いいたします。

教 頭	久保寺 正史	(上野原市立上野原小学校より)
教 諭	谷内 曜子	(都留市立宝小学校より)
教 諭	渡邊 幸子	(都留市立禾生第一小学校より)
事 務	永田 由美	(都留市立谷村第二小学校より)
A L T	エベェン ケリック	(カナダより)

【裏も御覧ください】

● 16名の先生方です ●

	氏名	備考
校長	深澤 秀興	
教頭	久保寺 正史	
1年担任	佐藤 史子	給食主任
2年担任	渡邊 幸子	
3年担任	高部 正美	研究主任・英語主任
4年担任	山口 由美	生徒指導主任
4年補助	谷内 曜子	
5年担任	小坂 文則	教務主任
6年担任	久保田 尊文	児童会主任・体育主任
6年補助	相川 美津江	
非常勤講師	太田 美穂	
養護教諭	佐藤 明美	保健主事
事務職員	永田 由美	
ALT	エヴェン ケリック	
図書館司書	中込 とし子	
業務員	柳原 義雄	

入学式 式辞

成人式、結婚式、お葬式。「式」と名が付くものは、いずれも人生において節目の大切なものであることはお分かりいただけると思います。

これと同じように、学校にも、始業式・終業式・修了式と、節目節目に重要な式があります。中でも、小学校生活のはじめの式である入学式と終わりの卒業式は、特別なものとなっています。それ故、校長挨拶は、このときばかりは「式辞」と称します。式辞には、校長の教育観や経営方針が色濃く反映されます。そこで、過日の入学式で述べた式辞を、御紹介します。

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。
私は、校長先生の深澤秀興と言います。
校長先生は、ここにいる先生方や上級生のお兄さんやお姉さんたちと同じように、皆さんが入学してくることを、楽しみに、待っていました。
今日から皆さんは、都留市立都留文科大学附属小学校の1年生です。
そこで、校長先生から、6年間の小学校生活で、皆さんに、こんな子どもになって欲しいな、という3つの目標について、お話しします。
1つ目は、「やさしい子」になってください。お友達や周りの人、花や虫などの生きているものを大切にできる「やさしい子」になってください。
2つ目は、「かしこい子」になってください。「かしこい子」というのは、自分からすすんでお勉強をして、自分の考えを持って、物事をしっかりと行うことができる子どものことです。そのために、先生のお話をよく聞いて、一生懸命お勉強をしてください。
最後、3つめは「たくましい子」になってください。風邪や病気に負けないように丈夫な体を作り、ちょっとした嬉しいことやいやなことにもへこたれず、いろいろなことにチャレンジする強い心を育ててください。
校長先生は、皆さんが、そんな附属小の子どもに育ってくれることを、期待しています。
ここからは、皆さんの御入学をお祝いして来てくださった地域の方やうちの方に、お話をするので、そのまま静かに聞いていてください。
御来賓の皆様、本日は御多用の中、入学式に御臨席を賜り、誠に有り難うございました。
本日9名の元気な1年生を迎え、全校児童46名で平成30年度をスタートすることになりました。
学校教育目標に掲げております、「やさしく」「かしこく」「たくましく」生きる「附属っ子」の育成を目指し、16名の教職員が心一つにして、全力で教育活動を行って参りたいと思います。本年度も、変わらぬ御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
保護者の皆様、お子様の御入学、誠にありがとうございます。これまで、大切に育ててこられたお子様を、本日からお預かりをいたします。
安全・安心を基本に、お子様一人一人のよさや可能性を最大限に伸ばすよう、教職員一同、全力で取り組んで参ります。
子どもたちが、健やかに成長するためには、学校と家庭が信頼し合い、連携しながら、それぞれの役割を果たしていくことが大切だと考えております。どうぞ本校の教育活動に対して、御理解と御協力をいただきますとともに、子育てのパートナーとして、どんな些細なことでも結構ですので、学校に御相談いただきたいと思っております。
9名の1年生が、早く小学校生活に慣れ、健やかな中に充実した学校生活を送れるよう、学級担任を中心に、皆で指導していくことをお約束し、校長の式辞といたします。

